

監査結果の公表(その1)

平成29年度定期監査(その1)を実施した結果の概要を次のとおり公表します。

茂原市監査委員 元吉敬宇
茂原市監査委員 金坂道人

◆監査の方法

監査の実施にあたっては、各所管の財務に関する事務事業が効果的、経済的に執行されているか。住民の福祉の増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げ、組織及び運営の合理化に努めているか。

また、前回の指摘事項の改善はなされているかに主眼を置き、提出された資料・関係諸帳簿を調査するとともに説明を聴取することにより、適正な監査の執行に努めた。

◆監査の結果

計画された事務事業はほぼ順調に進行しており、関係諸帳簿もおおむね適切に処理されていると認められた。

◆所見

事務事業の執行状況に関する所見は次のとおりであるので、検討のうえ一層適切に事務事業が執行されるよう要望する。

●組織の見直しについては、市民ニーズの多様化、社会情勢の変化などに対応するため、部局の枠にとらわれことなく業務遂行がで

る組織横断的な連携体制及び再任用職員の増加傾向に伴い、意思決定の明確化による事務処理の迅速化に取り組まれない。

●防災については、避難等の情報発信を的確に行うと共に、市民が日頃から気象情報に関心を持ち、避難情報の意味を理解し、こまめにチェックする習慣を身に着けられるよう周知された。また、防災行政無線のデジタル化については、災害の被害を最小限に防ぐため、早期に難聴地区の解消に努められたい。

●行財政改革については、茂原市総合計画を実現するための個別計画として行財政改革大綱第7次実施計画が位置づけられていることから、具体的取組み項目について、これまでの成果と今後の課題を踏まえ、事務の合理化、効率化への見直しや効果的な財政運営によって進行管理を行うよう取組まれたい。

●原市職員人材育成基本方針に基づく求められる職員像、職員が身に着けるべき能力について、各種研修、職員の自己研鑽等により、十分発揮できるような育成に努められたい。

●ふるさと茂原まちづくり応援寄附推進については、寄附者への記念品の充実を図るとともにさらなる利便性向上に努められたい。

●財政運営については、総合計画における将来都市像「ゆたかなくらしをはぐくむ自立拠点都市もばら」の実現のため、人口減少や急速な少子高齢化等による社会経済情勢の変化に対応し、安定かつ継続的に市民の暮らしを守るため、引き続き財政健全化に努めながら、歳出の効率化及び歳入確保を図り、選択と集中による財政運営に努められたい。

●固定資産税賦課事務については、平成30年度は評価替えの年であり、国土交通省が発表した平成29年7月1日時点の地価調査について商業地は全国平均で上昇したものの、茂原市の地価は依然横ばいであるので、不均衡が生じることのないよう、国の動向など注視し評価替えに取組まれたい。

●また、税負担の公平性の観点から、さらなる課税客体の把握に努められたい。

●市税等の収納については、税及び税以外の未収金の縮減を図ることは、市民負担の公平性の観点から重要なことから、引き続き収納率向上に向け、差押など法的手続きのさらなる強化に取組まれ、未収金の解消に努められたい。

●議会については、議会基本条例が施行され1年半が経過したことから、条例の目的が達成されているか適宜検証し、制度の改善が必要な場合、条例の改正を含めて適切な措置を講ずる(条例第24条)など、議会としての機能の強化に取組まれたい。

◆監査の期間

平成29年9月19日から11月14日まで

◆監査の場所

茂原市役所